

甦る幻の日記展

企画展
没後30年

島尾敏雄

TOSHIO SHIMAO
Reviving Phantom Diary

鹿児島ゆかりの作家・島尾敏雄は、平成28年11月12日に没後30年を迎えます。島尾は幼い頃から日記を付け始め、それは亡くなる直前まで続けられました。その数は手帳の類も含めると膨大な数にのぼります。しかし、そんな島尾日記コレクションには空白となっている時期があります。戦況が激しさを増す中、自ら焼却処分した戦中日記と、昭和27年から29年にかけての、いわゆる「死の棘」へとつながる日記です。

「死の棘」は島尾の代表作で、夫の情事発覚で精神に異常を来した妻と家庭の崩壊を描いた長編小説です。本作は、昭和29年から30年にかけて、島尾自身に起きた体験がベースとなっており、当時の生々しい記録は『「死の棘」日記』として、平成16年に新潮社より刊行されています。しかし、その「死の棘」日記の直前まで付けられていたはずの日記は、情事発覚の原因となったことから、ミホ夫人によって廃棄されたと思われてきました。

ところが、夫人の没後、奄美大島の自宅からこの頃のものと思われる日記の残骸が発見されたのです。これらの日記は劣化が激しく解読が困難であったため、当館では約2年をかけて修復作業を行ってきました。

本展では修復を終えた、昭和27年から29年にかけての日記7冊を公開いたします。これらの日記を時代背景と共に読み解くことによって、島尾の作家としての日常や葛藤、文壇における交流・確執、そして「死の棘」の執筆背景に迫ります。



島尾敏雄と妻ミホ 国府台病院精神科病棟で



約2年かけて修復された日記

アクセス 市電【朝日通】、バス【金生町】下車 徒歩7分
鹿児島シティビュー 【西郷銅像前】下車 徒歩3分
駐車場17台（内2台は身体障害者専用）

かごしま近代文学館 〒892-0853 鹿児島市城山町5-1
TEL 099-226-7771 URL <http://www.k-kb.or.jp/kinmeru>

かごしま近代文学館



TOSHIO SHIMAO
Reviving Phantom Diary
T.S
30TH

関連事業

小栗康平監督講演会&映画「死の棘」上映会

【第1部】講演会

講師 小栗康平氏（映画監督）
テーマ 「死の棘」の映画化にあたって
時間 13時～14時

【第2部】映画「死の棘」上映会

作品 「死の棘」（カンヌ国際映画祭審査員グランプリ受賞作）
1990（平成2）年公開 松竹
監督・小栗康平 出演・松坂慶子、岸部一徳 ほか
時間 14時15分～16時15分



©1990 松竹株式会社

2016年9月24日（土）13時～16時15分
サンエールかごしま 講堂（鹿児島市荒田1丁目4-1）

無料 / 定員400人 ※超えた場合は抽選

申込み

往復はがき、またはメール (kinmeru@k-kb.or.jp) で、住所、氏名、年令、電話番号を記入の上、〒892-0853 鹿児島市城山町5-1 かごしま近代文学館「島尾敏雄企画展関連イベント」係まで。

※申込み締切り：8月31日（水）